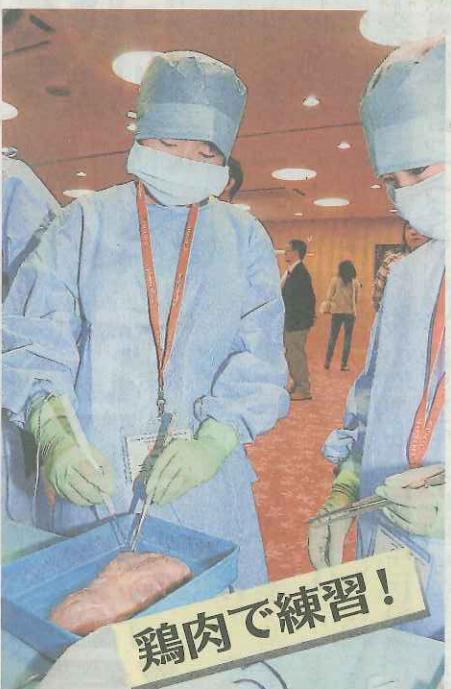


小学生が外科医に変身

模擬手術

どきどき
わくわく

手術着、暑い！



超音波メスを使って鶏肉を切ってみる参加者

命を救う、かつこいいお医者さんに変身。弘前市の弘前大学医学部で6月29日、小学生を対象にした外科手術体験セミナーが行われました。市内の48人が、本物の医療器具やシミュレーターを使った模擬手術に挑戦しました。

セミナーは、子どもたちに医療に興味を持つてもらおうと、弘大医学部付属病院外科が企画。これまで主に医師を目指す高校生が対象で、小學生向けは今回が初めてでした。

弘大でセミナー

参加者は、ぼうしとマスク、手術着、手袋を身につけた後、細かく振動する超音波メスで鶏肉を切ったり、シミュレーターで、モニター画面を見ながら胆のうを取り腹腔鏡手術を体験しました。福村小の石岡梢君は「手術着は暑くて大変だったけど、細かい作業が好きなので楽しめた」、松原小の鳴海愛華さんは「シミュレーターでいっぱい血が出てびっくりした。将来は医者になって、手術できるようになりたい」と笑顔で話していました。

